

協働テーマ

東京に多く残っている「文化財」にもっと興味を持ち、
もっと訪れたくなるような、デジタルコンテンツを作成したい！

■ 現場課題

課題詳細

主テーマとして「都内の文化財の認知向上を図る」ことがある。デジタル施策の1つとして、文化財の所在地を俯瞰できるデジタルマップを構築し、回遊を促すデジタルスタンプラリーを展開したい。また、文化財の情報管理に多大な時間を要しており、実質的な認知拡大の時間を確保出来ない課題がある。（現場ヒアリングより）

文化財デジタルマップ

課題解決による
想定成果・効果

文化財の所在地を俯瞰的に利用者に伝え、案内し、回遊性を高める。
文化財情報管理に要していた業務時間をDXで削減（効率化）し、新たに確保できた時間を文化財の認知拡大活動に当てることができる。

■ プロジェクト概要

課題に対する
ソリューション

デジタルマップ、デジタルスタンプラリーはボールドライト社のプラチナマップ（SaaS）を活用。加えて、文化財管理システムを新規構築。業務効率の実現を目指し、文化財DXプラットフォーム（文化財DXP）を開発。

協働
プロジェクト
内容

- ① 基本要望である「デジタルマップ」を構築・運用。
- ② 現状業務プロセスに応じた文化財DXPを開発し、改善効果を検証。

成果

- ① 文化財ウィーク中に4,687人がデジタルマップを利用し、57%が満足と回答。
- ② 文化財DXP導入により、ボトルネック・タスクの業務時間を1/7に削減した。
- ③ 上記の①②の結果より、文化財データ構造を低コストで最新化できるようになったため、通年運用可能なデジタルマップを公開することができた。